

2024年3月期 ミニディスクロージャー



TOMATO通信

第141期 営業のご報告
(2023年4月1日～2024年3月31日)



岡山城(岡山市)

Top Message トップメッセージ

前中期経営計画の振り返り

国内景気は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響を受けつつも、ペントアップ需要の顕在化等に支えられて、緩やかに回復しています。しかしながら、海外情勢の不安定化、原油価格の高騰、原材料価格は上昇の一途を辿るなど先行き不透明感が高まっている状況です。

このような環境のもと、中期経営計画最終年度の2023年度の成績は次の通りとなりました。

業容につきましては、預金残高は、法人・個人の流動性預金が増加したこと等により、前期末比197億円増加の1兆2,331億円となりました。貸出金残高は、本業支援・最適提案活動により資金ニーズに対応した結果、事業者向け貸出や住宅ローンの増加により、前期末比198億円増加の1兆404億円となりました。

損益につきましては、経常収益は、有価証券利息や役務取引等収益が増加したこと等により、前期比5.4%増の178億76百万円となりました。経常利益は、与信関連費用や営業経費が増加したこと等により、前期比14.7%減の21億円と増収減益決算となりました。

新中期経営計画について

人口減少で経済が縮小していく中で、お客さまから選ばれ続けるには、社員一人ひとりが情報収集能力、思考力、行動力を高め最大限能力を発揮していくことが不可欠です。また、一層お客さまに寄り添った本業支援・最適提案活動を実践するためには業務構造変革が必要となります。新中期経営計画においては、人財に基づく経営変革と業務変革により対面営業力を強化することで、これまで本業支援・最適提案活動の真価の発揮により拡大してきた営業基盤を活かし、1社ごと、一人ひとりのお客さまに対する課題解決と夢の実現に真摯に取り組むことで、お客さまとの取引の密度を高め、「いつも会って話せる あなたのメインバンク」を目指していきます。

お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月



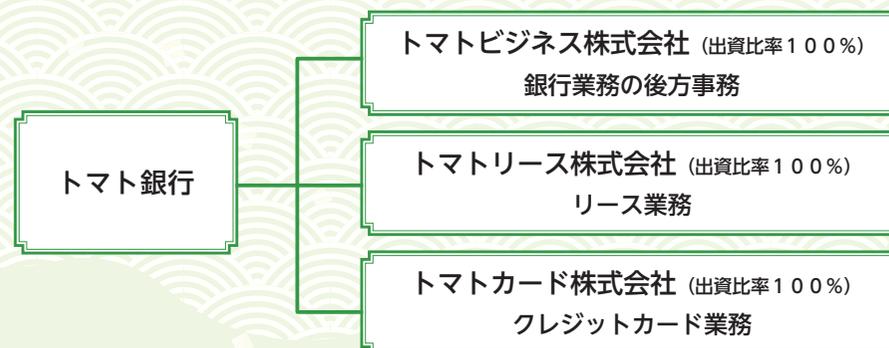
取締役社長 高木 晶悟

平素よりトマト銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。このたび2023年度のミニディスクロージャー（営業のご報告）を作成いたしましたので、ご高覧ください。

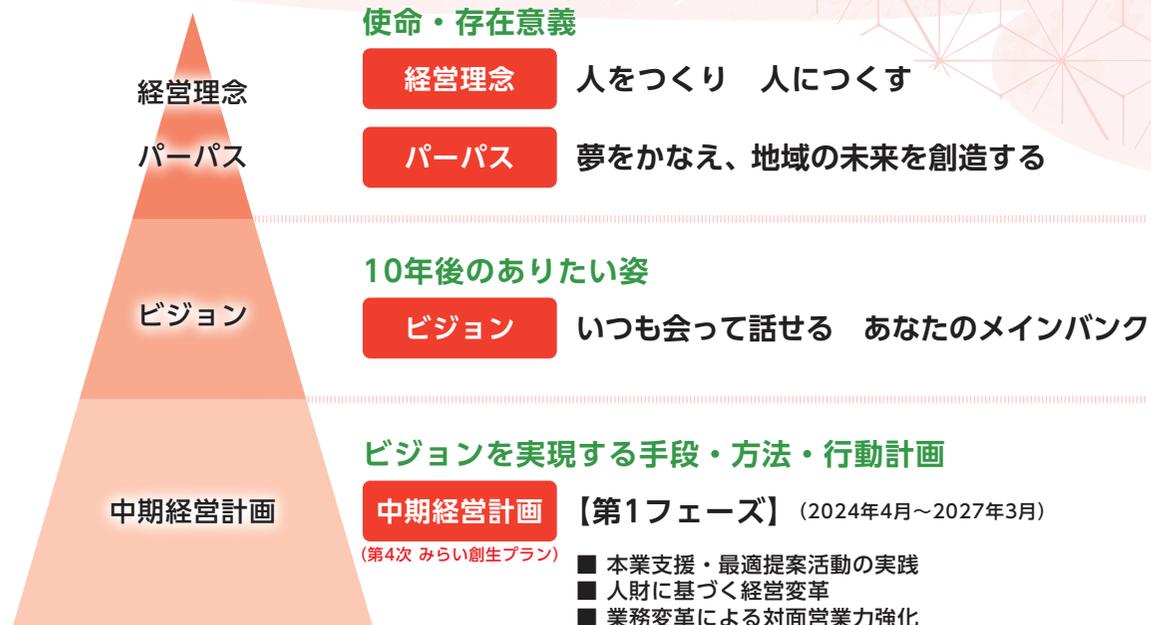
当社の概要 (2024年3月31日現在)

本店所在地	岡山市北区番町2丁目3番4号
創立年月日	1931(昭和6)年11月9日
資本金	143億1,000万円
預金	1兆2,331億円
貸出金	1兆404億円
店舗数	61カ店 (岡山県53カ店、兵庫県4カ店、広島県・大阪府・東京都各1カ店、インターネット支店1カ店)
社員数	754名(嘱託・パート社員除く)
ホームページ	https://www.tomatobank.co.jp/

トマト銀行グループ



経営理念体系（パーパス・ビジョンの制定）



パーパス・ビジョンに込めた想い

トマト銀行の原点は、昭和恐慌の最中の1931年11月9日に「地域の飛躍」を目指して誕生した「倉敷無尽」です。

創業時より、地元から資金を集め、地元の資金が必要な人に融資する庶民の銀行として地元根差した経営を行ってきました。

1989年4月の普通銀行転換時には、地域の皆さまのより身近な存在としてありたいと、社名を「トマト銀行」へ変更する等、私たちは時代と共に柔軟に変化してきました。

これまでの歴史の中で、数多くの困難もありましたが、社員の努力と地域の皆さまに支えていただき、今があります。

政治、経済、社会情勢が目まぐるしく変化し、人々の行動様式や考え方が大きく変わり、銀行に求められる役割も変わっています。不確実性が高まる時代だからこそ、当社の存在意義、10年後のありたい姿を全役員で改めて考え、今回、パーパス（存在意義）とビジョン（10年後のありたい姿）を制定しました。

2031年の創立100周年に向け、私たちは創業時の「相互扶助」の精神を忘れず、「人とひとをつなぐ、人の想いを未来につなぐ」人財を育成し、地域の皆さまのために変化と挑戦を続けることで、トマト銀行に関わるすべての人にとって「地域になくてはならない銀行」としてあり続けます。

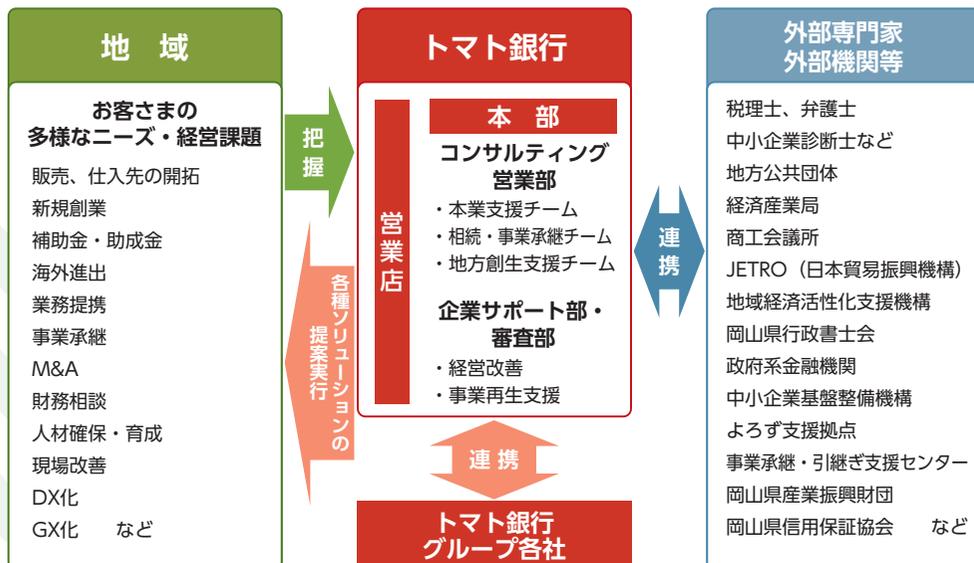
中期経営計画（第4次 未来創生プラン）の基本戦略・経営目標（単体）



目標項目	2023年度実績	中期経営計画目標
コア業務純益 (投信解約損益を除く)	30億円	32億円
当期純利益	14億円	19億円
自己資本比率	8.6%	8%以上
OHR (コア業務粗利益ベース)	78.1%	75%程度
ROE<連結> (当期純利益ベース)	2.75%	中長期に5%を目指します

法人のお客さまへの本業支援

お客さまの経営課題・ニーズに応じた事業・財務の本業支援を実践しています。



個人のお客さまへの最適提案

お客さまのライフプランに合わせた最適な商品・サービスを提供しています。



事業・財務の本業支援



本業支援アクション先活動報告会

営業店・本部がお客さまと一体となって作成した「経営レポート（事業性評価シート）」に基づきお客さまと経営課題を共有し、課題解決に向けた各種本業支援策の実施や資金繰り・資金調達構造の改善等に取り組んでいます。また、役員、本部関係部署、営業店がお客さまの経営課題解決に向けたソリューションを検討する「本業支援アクション先活動報告会」を定期的で開催しています。

商談会等による販路・事業拡大支援



第11回地方創生「トマトアグリフードフェア」

お客さまの販路拡大や事業展開ニーズにお応えするため、さまざまな商談会や説明会を開催しています。2023年11月に第11回地方創生「トマトアグリフードフェア」を開催しました。また、2024年3月には外国人材の受入れに関心のある事業者を対象とした「外国人材受入セミナー」を開催し、外国人材を採用し活躍してもらうためのポイントについて説明などを行いました。

近隣金融機関との「相続手続きの共通化」

相続手続きの共通化の概要

- ・相続手続き依頼書の様式、記入方法の共通化
- ・相続手続きの簡素化基準の共通化
- ・ご提出いただく確認書類の共通化

当社は近隣金融機関と提携し、預金等の相続手続きを共通化しています。金融機関ごとに相続手続きにかかる書類・手続きが異なるといった煩雑さを解消するとともに、SDGsの達成に向けた紙の使用量削減にもつながります。

引き続き、お客さまの一層の利便性向上に向けて共通化を拡大してまいります。（2024年4月より25金融機関へ拡大）

トピック

■トマト銀行アプリのウォレット機能「WalleToma」がさらに便利に！！



ウォレット機能「WalleToma」

ウォレット機能を利用し、スマホでの決済や「WalleToma」同士の送金、セブン銀行ATMで現金引出しも可能です。

..... WalleTomaでできること

<p>Point 1</p> <p>チャージ トマト銀行の口座から簡単チャージ！</p>	<p>Point 2</p> <p>お支払い スマホのバーチャルプリペイドカードで便利にお支払い！</p>
<p>Point 3</p> <p>送金 WalleToma同士なら手軽に送金も！</p>	<p>Point 4</p> <p>お引出し セブン銀行ATMから現金のお引出しが可能！※</p>

※セブン銀行ATMでのお引出しのご利用時には別途手数料がかかります。



かんたん残高・入出金明細・定期預金明細照会

残高・入出金明細・定期預金明細の確認が、いつでも・どこでもスマホからできます！

トマト・スマート通帳

他金融機関口座、クレジットカード、電子マネーの一括管理ができます！

ローン残高照会・返済予定表照会機能

お使いいただいているローンの残高照会・返済予定表照会が簡単便利に！

ウォレット機能「WalleToma(ウォレットマ)」

WalleTomaによりスマホタッチ決済、ネット支払、送金、お引出しが可能に！

各種お申込み・お手続き

来店不要で各種お申込み・お手続きができます！通帳レス口座への切替、各種ローンのお申込み、住所変更をスマホから！

店舗・ATM検索・各種ログイン

店舗・ATM検索や各種サービスのログインができます！

アプリのダウンロードはこちらから

<p>iPhoneをご利用の方</p>		<p>Androidをご利用の方</p>	
---------------------	--	----------------------	--

・Apple、Appleのロゴ、App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
 ・Google Play、Google Playロゴ、Android、AndroidロゴはGoogle LLCの商標です。
 ・QRコードは、(株)デンソーウェブの登録商標です。

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ方針

トマト銀行グループは、「経営理念」に基づく企業活動を通じて、サステナビリティを巡る課題解決に取り組むことで、地域社会・環境の持続的な発展に貢献していくとともに、トマト銀行グループの中長期的な企業価値の向上と持続可能な成長を目指してまいります。 2021年12月

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同

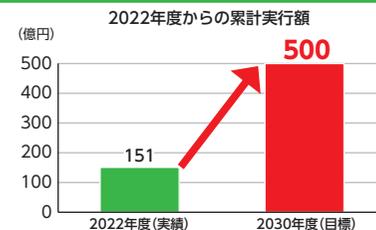


2023年3月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明しており、気候変動対応に関する取り組みと情報開示を行ってまいります。

CO2排出量 (Scope1,2合算) の状況および目標



サステナブルファイナンス実行目標



トマトSDGsエコ定期預金 贈呈式

業務を通じた環境への取り組み

森林整備や緑化推進など、さまざまな環境保全活動にお役立ていただくため、お預入総額の0.1%（上限30万円）を「緑の募金」（公益社団法人岡山県緑化推進協会）へ寄付する「トマトSDGsエコ定期預金」を、2009年より毎年取り扱っています。

カーボンオフセットの実施、エコステーションの設置



特別協賛の「第11回トマト銀行6時間リレーマラソン」において、カーボンオフセットの実施や、エコステーションを設置し、環境保全活動に取り組んでいます。

自治体のSDGs登録制度への賛同状況

岡山市：岡山市SDGs推進パートナーズ
 倉敷市：倉敷市・高梁川流域SDGsパートナーズ
 真庭市：真庭SDGsパートナー制度



サステナビリティへの取り組み

地方創生への取り組み

● トマトSDGs私募債

お客さまよりいただく私募債発行手数料の一部を活用して、地域の学校や自治体等へ寄付や物品を寄贈するトマトSDGs私募債を取り扱っています。

- ▶ 寄付型
(教育応援、地元スポーツチーム応援、地方創生)
- ▶ 内容型 (環境対応、BCP対応)



寄付型私募債 贈呈式

真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」



2023年1月からサービスを開始した真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」は、真庭市内で使えるデジタル地域通貨で、スマートフォンのアプリにより加盟店で電子決済や地方税統一QRコードを利用した税納付に対応しています。2023年11月より銀行口座との連携を開始、また2024年2月より「健康管理機能」を追加しており、2024年3月にユーザー数20,000人を達成しました。

スポーツ支援の取り組み

スポーツを通じた地域貢献活動として、地元のサッカーチームやバスケットボールチームを応援するため、お預入総額に応じてチーム強化資金を贈呈する応援定期預金などを取り扱っています。



ファジアーノ岡山 チーム強化資金贈呈式

連携協定に基づく取り組み



おokayama共創パートナーシップ

当社、中国銀行、日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会の連携協定「おokayama共創パートナーシップ」では地域経済の活性化に向け、さまざまな取り組みを行っています。

- 2023年10月 運送業勉強会の実施 (2024年問題に向けた支援能力向上の勉強会)
- 2024年 1月 第4回 おokayama共創アグリセミナーの開催

金融教育への取り組み

地域の小学生等の皆さまに金融授業や銀行窓口体験などを通じてお金や銀行の役割について理解・関心を深めていただく「夏休み！ トマト銀行子ども探検隊」など、幅広い金融教育活動を行っています。



「夏休み！ トマト銀行子ども探検隊2023」

健康経営への取り組み



「トマト銀行健康経営宣言」を策定し、定期健康診断・人間ドックの100%実施などに取り組んでいます。また、「健康経営優良法人認定制度」において、特に優れた健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2024 (大規模法人部門)」に認定されています。

ダイバーシティ推進への取り組み

2024年3月、岡山県が登録する「おokayama子育て応援宣言企業」のうち、特に積極的な取り組みを実施している企業として「アドバンス企業」に認定されています。



【女性活躍推進の行動計画】 計画期間：2021年4月1日～2026年3月31日

定量的目標	2024年3月末 (実績)	2026年3月末 (目標)
係長以上に占める女性の割合	18.07%	20%
女性の融資係・渉外係	29名	50名
男性の育児休業取得率	94.7%	80%以上
所定外労働時間 (月平均)	12時間38分	10時間以内

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関する取り組み

当社は、金融庁により公表されたガイドラインに基づき、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止が国内のみならず国際的にも要請されている重要課題であることを認識し、これらの課題に厳正に対応するため、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止に関する基本方針」を定めて、適切な管理体制の構築に努めています。



2023年8月、岡山県内の金融機関でマネー・ローンダリング対応に係る共同リーフレットを作成するなど、金融犯罪被害防止のため連携して対応してまいります。

2024年3月期 業績ハイライト (単体)

- ・ 預り資産は預金残高の増加に加え、投資信託や個人年金保険の残高も増加したため、前期末比289億円増加し1兆4,078億円となりました。
- ・ 貸出金残高は、事業者向け貸出や住宅ローンの増加により、前期末比198億円増加の1兆404億円となりました。
- ・ コア業務純益は、経費は増加したものの、資金利益や役員取引等利益の増加により前期比2億8百万円増加の30億90百万円となりました。
- ・ 経常利益は、与信関連費用や営業経費が増加したこと等により、前期比3億63百万円減少の21億円となりました。

預り資産

14,078億円
(前期末比+289億円)



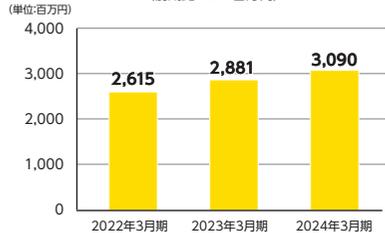
貸出金

10,404億円
(前期末比+198億円)



コア業務純益

3,090百万円
(前期比+208百万円)



経常利益

2,100百万円
(前期比△363百万円)



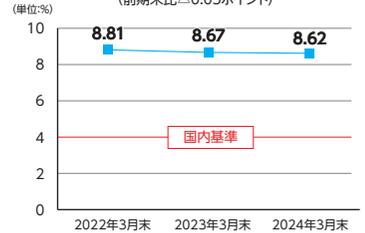
当期純利益

1,412百万円
(前期比△295百万円)



自己資本比率

8.62%
(前期末比△0.05ポイント)



役員 (2024年6月27日現在)

取締役社長 (代表取締役)	高木 晶 悟	取締役	坪田 泰 久	常勤監査役	古武 卓 弥
専務取締役 (代表取締役)	井上 正 樹	取締役	谷本 浩 二	監査役※2※3	奥田 哲 也
常務取締役	延永 邦 彦	取締役※1※3	小川 洋	監査役※2※3	古南 篤 子
常務取締役	中 浩 二	取締役※1※3	上岡 美 保 子	監査役※2※3	瀧口 信 雄
常務取締役	たべ 部 真 康				

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
※3は、東京証券取引所へ届出を行っている独立役員であります。

株式の状況・株式のご案内 (2024年3月31日現在)

株式の状況

- 発行済株式総数 … 12,679,030株 (普通株式11,679,030株、第2回A種優先株式1,000,000株)
- 株 主 総 数 … 10,277名 (普通株式10,255名、第2回A種優先株式22名)

株式のご案内

- 決算日 … 毎年3月31日
- 定時株主総会 … 毎年6月に開催します。
- 基準日 … 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 公告方法 … 電子公告とします。
インターネットホームページ：https://www.tomatobank.co.jp/
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および岡山市において発行する山陽新聞に掲載して公告します。

- 株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 株 主 名 簿 管 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 照 会 先 ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【株式に関する住所変更のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座 (特別口座といえます) を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

<単元未満株式の買取または買増請求について>
単元未満 (100株未満) の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合には、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている株主様はお取引の証券会社等へ、特別口座に記録されている株主様は特別口座の口座管理機関 (三井住友信託銀行株式会社 ☎0120-782-031) へ、それぞれお申し出ください。

岡山県 岡山市

岡山市（おかやまし）は、岡山県の南東部に位置し、政令指定都市に指定されています。全国的には桃太郎の伝説と吉備団子や西大寺会陽（裸祭り）が有名であり、また、中心部には岡山城や日本三名園のひとつである岡山後楽園を擁しています。岡山藩池田氏の城下町として栄えた江戸時代以来、中心都市として発展してきた高層ビルの立ち並ぶ中心部と、閑静な田園や中山間地域が広がる郊外部を持っています。

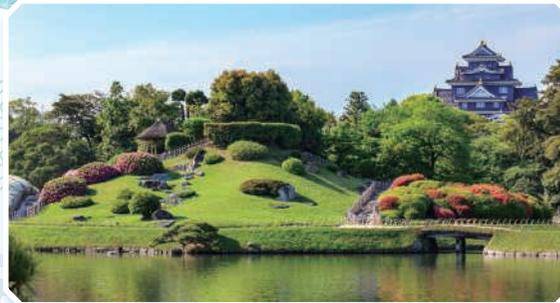
岡山市

岡山城（烏城）



2022年11月3日に令和の大改修を終えリニューアルオープンしました。豊臣秀吉の家臣で豊臣五大老の一人・宇喜多秀家が築城した城です。めずらしい不等辺五角形をした三層六階建ての天守は威厳のある佇まいで、黒い下見板張りの外観から、別名「烏城（うじょう）」と呼ばれています。1945年の岡山大空襲によって焼失した天守閣は秀家が建てたもので、現在の天守閣は1966年に再建されたものです。

岡山後楽園



岡山後楽園は、水戸の偕楽園、金沢の兼六園と共に「日本三名園」のひとつと称され、国の特別名勝に指定されています。江戸時代を代表する大名庭園であり、岡山藩主池田綱政が家臣の津田永忠に命じて、1687年に着工、1700年に一応の完成をみました。その後も藩主の好みで手が加えられ、江戸時代の姿を大きく変えることなく現在に伝えられています。

つきみやくら 月見櫓

（国指定重要文化財）

本丸中の段の北西角に位置する隅櫓で、建築年代は不明であるが、池田忠雄が岡山城主であったときの修復の際に新造され、元和元年(1615)から寛永九年(1632)の時期の間と考えられています。大半が失われた岡山城の建築物の中で今日まで残った貴重な建物です。



にしのみるにしてやくら 西丸西手櫓

（国指定重要文化財）

岡山城の外周を固めている二の丸内屋敷の西側にある西の丸を守る櫓です。この一郭にも櫓や城門が存在していましたが、明治になって西手櫓と一部の土塀を残して取り壊されてしまいました。西丸西手櫓は1603年、岡山池田家の執政を担った池田利隆が本来の藩主である池田忠継の代わりに岡山城を整備拡張した際に建てられた建物です。西丸には主に藩主家家族の為の御殿が設けられ、隠居所として機能しました。明治時代初期の廃城令や太平洋戦争での空襲で岡山城の多くの施設は失われましたが、月見櫓と西丸西手櫓だけが奇跡的に当時の姿を今に伝えています。



岡山市、倉敷市、総社市及び赤磐市の4市で文化庁に申請していた「**桃太郎伝説**」の生まれたち **おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～**」のストーリーが、2018年5月24日、「日本遺産」に認定されました。その一部の文化財を紹介します。



吉備津神社

1425年に再建された本殿と拝殿は全国で唯一の吉備津造り（比翼入母屋造り・ひよくいりもやづくり）という建築様式を採用し、国宝に指定されています。桃太郎（鬼退治）伝説の原型となったとされる吉備津彦命（きびつひこのみこと）と温羅（うら）にまつわる伝説が残っています。鬼退治の矢を置いたと伝わる矢置岩、鬼の首を埋めたと言われる御産殿（おかまでん）など、伝説の舞台を体感できます。



造山古墳

全国第4位の規模を持つ、5世紀前半の前方後円墳で、全長約350m、後円部径約224m、高さ約27～32.5mで三段築成となっています。後円部墳頂には形象埴輪、墳丘斜面の各段には大量の葺石と円筒埴輪が認められます。墳丘に登って見学できる古墳の中では全国でも最大の大きさとなります。

写真提供：岡山県観光連盟